

平成30年7～9月期結果(確報)の概要

I 今期の概況

1 今期の個人企業(個人経営の事業所)の業況判断D I

- ① 今期の業況判断
今期(平成30年7～9月期)の業況判断D Iは(-)59.4で、前期(平成30年4～6月期)(-54.3)に比べ、5.1ポイントの悪化。
- ② 来期の見通し
来期(平成30年10～12月期)の業況見通しD Iは(-)56.1で、今期の業況判断(-59.4)に比べ、3.3ポイントの改善の見通し。

図1 業況判断D Iの推移 —調査産業計—

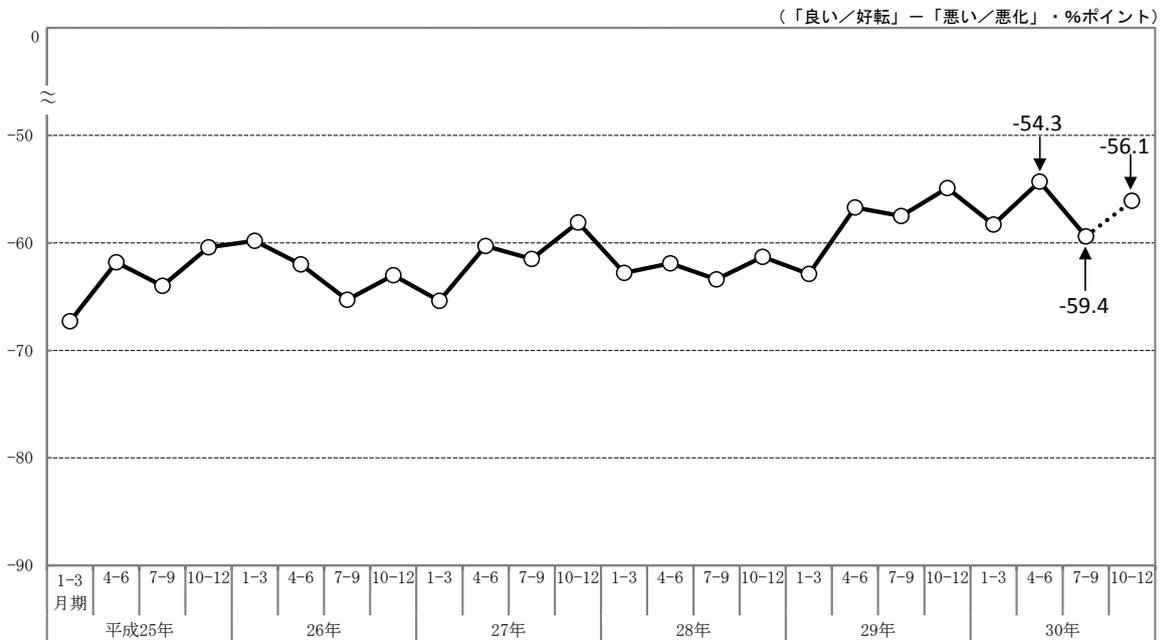


表1 業況判断の割合 —調査産業計—

	平成29年		30年				
	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期 見通し	
今期の業況, 来期の業況 (%)							
良い/好転	3.5	4.6	4.3	4.3	3.6	3.6	
普通/不変	35.5	35.9	33.1	37.1	33.4	36.6	
悪い/悪化	61.0	59.5	62.6	58.6	63.0	59.7	
D I	-57.5	-54.9	-58.3	-54.3	-59.4	-56.1	
参考	日銀短観(大企業全産業計)	23	26	23	22	21	20
	中小企業景況調査(全産業計)	-21.9	-20.1	-24.8	-20.3	-22.1	-8.0

(注) 「中小企業景況調査」：(独)中小企業基盤整備機構作成

(注) 今期の調査票回収時期は、平成30年10月上旬から中旬までである。

2 今期の売上高及び営業利益

① 今期の1事業所当たりの売上高は、	
□「製造業」は	219万1000円で、前年同期に比べ、9.9%の減少
□「卸売業、小売業」は	333万9000円で、前年同期に比べ、8.5%の減少
□「宿泊業、飲食サービス業」は	214万9000円で、前年同期に比べ、4.3%の減少
□「サービス業」は	123万8000円で、前年同期に比べ、4.1%の増加
② 今期の1事業所当たりの営業利益は、	
□「製造業」は	56万8000円で、前年同期に比べ、0.2%の減少
□「卸売業、小売業」は	35万円で、前年同期に比べ、21.5%の減少
□「宿泊業、飲食サービス業」は	38万6000円で、前年同期に比べ、12.9%の減少
□「サービス業」は	46万3000円で、前年同期に比べ、2.9%の増加

※前年同期：平成29年7～9月期

表2 産業別売上高及び営業利益

		(1事業所当たり)							
		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
実数 (千円)	平成28年 7～9月期	2,092	580	3,638	388	2,107	418	1,139	427
	10～12月期	2,558	688	3,821	405	2,120	387	1,200	427
	平成29年 1～3月期	2,328	605	3,320	287	2,014	372	1,131	377
	4～6月期	2,478	641	3,621	385	2,109	409	1,242	496
	7～9月期	2,431	569	3,648	446	2,245	443	1,189	450
	10～12月期	2,597	770	4,009	397	2,267	415	1,286	470
前年同期比 (%)	平成30年 1～3月期	2,009	504	3,686	412	2,187	388	1,126	383
	4～6月期	2,388	687	3,595	415	2,165	421	1,223	464
	7～9月期	2,191	568	3,339	350	2,149	386	1,238	463
	平成28年 7～9月期	-9.4	-14.1	0.8	6.0	-4.4	13.6	-6.3	-4.3
	10～12月期	7.5	6.8	-6.0	-16.3	-8.3	-17.7	-6.6	-9.3
	平成29年 1～3月期	1.5	-11.7	-6.9	-18.7	-10.6	-11.0	-0.3	-0.5
4～6月期	14.5	4.6	-1.0	16.7	1.2	11.7	7.4	17.8	
7～9月期	16.2	-1.9	0.3	14.9	6.5	6.0	4.4	5.4	
10～12月期	1.5	11.9	4.9	-2.0	6.9	7.2	7.2	10.1	
平成30年	1～3月期	-13.7	-16.7	11.0	43.6	8.6	4.3	-0.4	1.6
	4～6月期	-3.6	7.2	-0.7	7.8	2.7	2.9	-1.5	-6.5
	7～9月期	-9.9	-0.2	-8.5	-21.5	-4.3	-12.9	4.1	2.9

3 今期の設備投資額

① 今期の1事業所当たりの設備投資額は、	
□「製造業」は	7万9000円で、前年同期（11万円）に比べ、減少
□「卸売業、小売業」は	4万9000円で、前年同期（6万3000円）に比べ、減少
□「宿泊業、飲食サービス業」は	11万4000円で、前年同期（7万2000円）に比べ、増加
□「サービス業」は	6万8000円で、前年同期（3万3000円）に比べ、増加
② 今期の1事業所当たりの設備投資率（売上高に対する設備投資額の割合）は、	
□「製造業」は	3.6%で、前年同期（4.5%）に比べ、0.9ポイントの低下
□「卸売業、小売業」は	1.5%で、前年同期（1.7%）に比べ、0.2ポイントの低下
□「宿泊業、飲食サービス業」は	5.3%で、前年同期（3.2%）に比べ、2.1ポイントの上昇
□「サービス業」は	5.5%で、前年同期（2.8%）に比べ、2.7ポイントの上昇

※前年同期：平成29年7～9月期

表3 産業別設備投資額及び設備投資率

		(1事業所当たり)							
		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
		設備投資額	設備投資率	設備投資額	設備投資率	設備投資額	設備投資率	設備投資額	設備投資率
		(千円)	(%)	(千円)	(%)	(千円)	(%)	(千円)	(%)
平成28年	7～9月期	169	8.1	56	1.5	177	8.4	36	3.2
	10～12月期	64	2.5	93	2.4	84	4.0	47	3.9
平成29年	1～3月期	121	5.2	46	1.4	46	2.3	43	3.8
	4～6月期	79	3.2	54	1.5	64	3.0	66	5.3
平成30年	7～9月期	110	4.5	63	1.7	72	3.2	33	2.8
	10～12月期	98	3.8	57	1.4	140	6.2	42	3.3
	1～3月期	40	2.0	59	1.6	42	1.9	28	2.5
平成30年	4～6月期	236	9.9	43	1.2	56	2.6	59	4.8
	7～9月期	79	3.6	49	1.5	114	5.3	68	5.5

Ⅱ 業況判断

1 調査産業計

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成30年7～9月期）の業況判断D Iは（-）59.4で、前期（平成30年4～6月期）（-54.3）に比べ、5.1ポイント悪化した。

イ 前期と比較した業況判断D Iは（-）48.3で、前期（-38.3）に比べ、10.0ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成29年7～9月期）と比較した業況判断D Iは（-）52.8で、前期（-48.5）に比べ、4.3ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成30年10～12月期）の業況見通しD Iは（-）56.1で、今期の業況判断（-59.4）に比べ、3.3ポイントの改善の見通しとなっている。

図2 業況判断D Iの推移 —調査産業計—

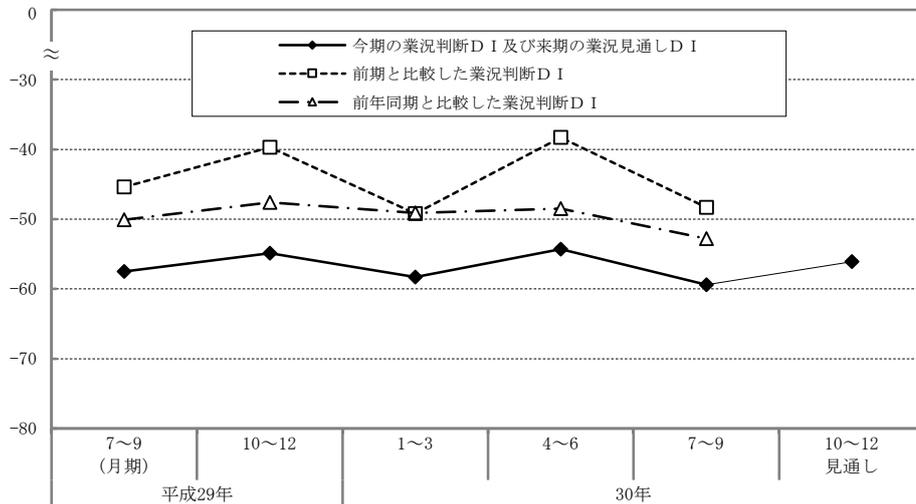
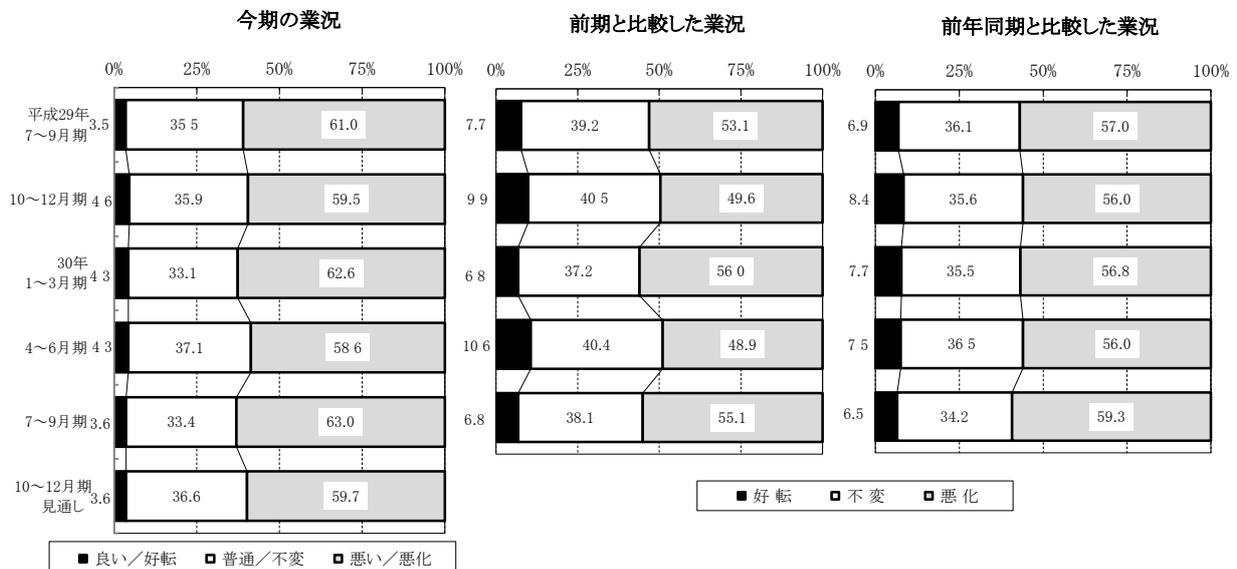


図3 業況判断の割合 —調査産業計—



(2) 売上の状況

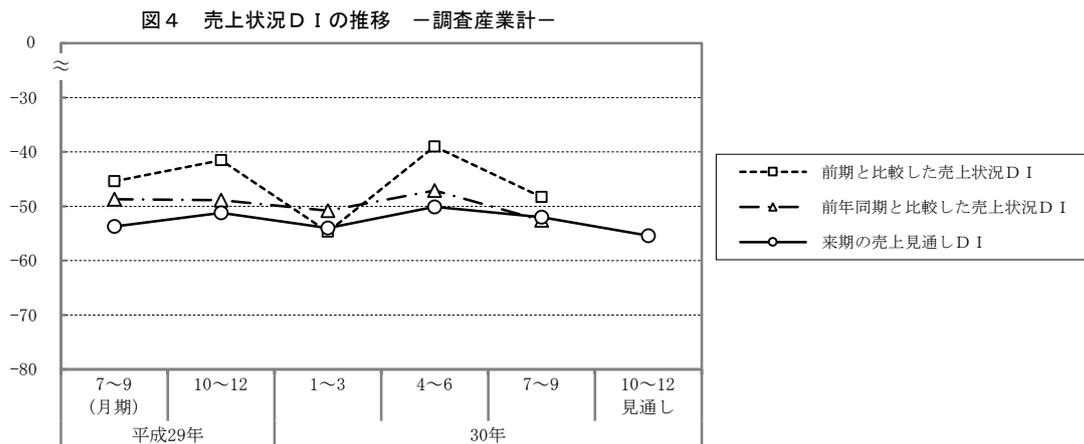
① 今期の売上の状況

ア 前期と比較した売上状況DIは (-)48.3 で、前期 (-39.0) に比べ、9.3 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは (-)52.6 で、前期 (-47.1) に比べ、5.5 ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは (-)55.4 で、前期における今期の売上見通し (-52.0) に比べ、3.4 ポイントの悪化の見通しとなっている。



(3) 営業利益の状況

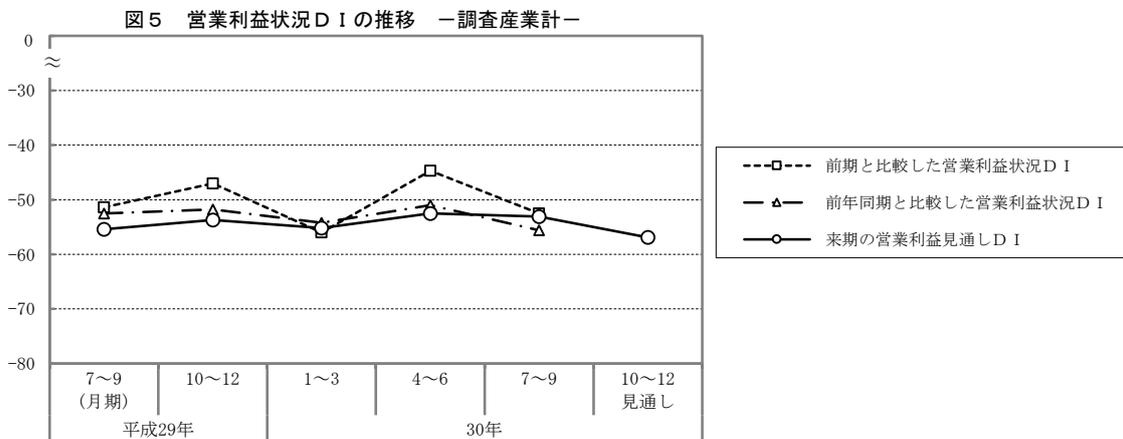
① 今期の営業利益の状況

ア 前期と比較した営業利益状況DIは (-)52.5 で、前期 (-44.7) に比べ、7.8 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは (-)55.6 で、前期 (-51.0) に比べ、4.6 ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

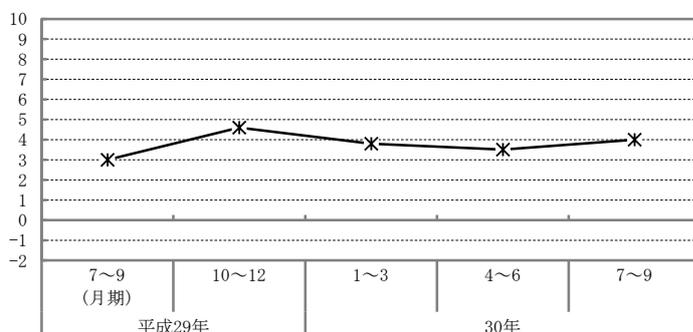
来期の営業利益見通しDIは (-)56.9 で、前期における今期の営業利益見通し (-53.1) に比べ、3.8 ポイントの悪化の見通しとなっている。



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)4.0 で、前期 (+3.5) に比べ、0.5 ポイント「過剰」が拡大した。

図6 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -調査産業計-

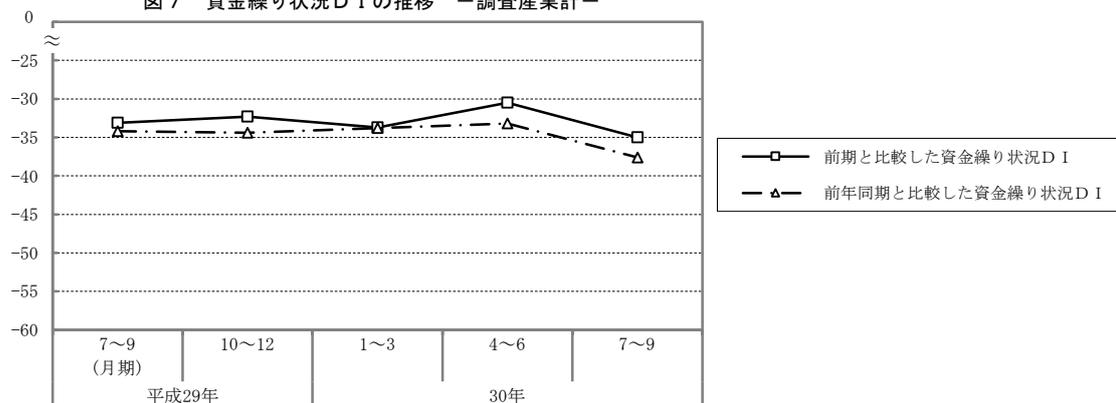


(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)35.0 で、前期 (-30.5) に比べ、4.5 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)37.6 で、前期 (-33.2) に比べ、4.4 ポイント悪化した。

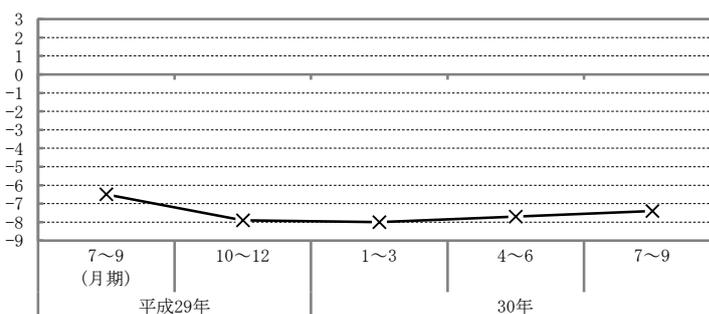
図7 資金繰り状況DIの推移 -調査産業計-



(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)7.4 で、前期 (-7.7) に比べ、0.3 ポイント「不足」が縮小した。

図8 雇用状況DIの推移 -調査産業計-



2 製造業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成30年7～9月期）の業況判断DIは(-)46.3で、前期（平成30年4～6月期）(-45.8)に比べ、0.5ポイント悪化した。

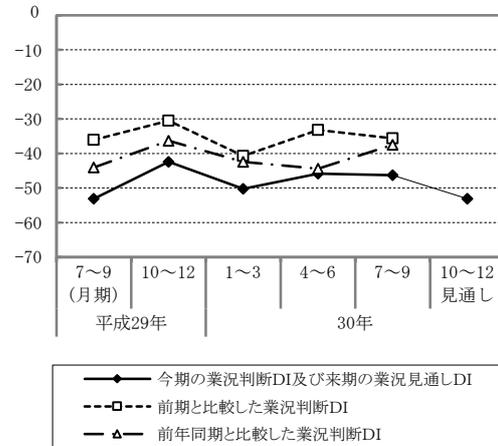
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)35.6で、前期(-33.2)に比べ、2.4ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成29年7～9月期）と比較した業況判断DIは(-)37.5で、前期(-44.4)に比べ、6.9ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成30年10～12月期）の業況見通しDIは(-)53.1で、今期の業況判断(-46.3)から、6.8ポイントの悪化の見通しとなっている。

図9 業況判断DIの推移
—製造業—



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

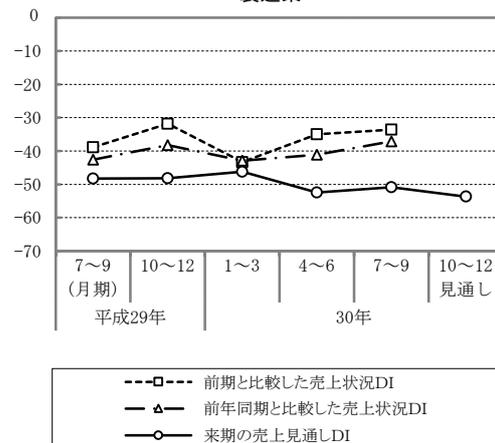
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)33.6で、前期(-35.0)に比べ、1.4ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)37.1で、前期(-41.1)に比べ、4.0ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)53.7で、前期における今期の売上見通し(-50.9)から、2.8ポイントの悪化の見通しとなっている。

図10 売上状況DIの推移
—製造業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

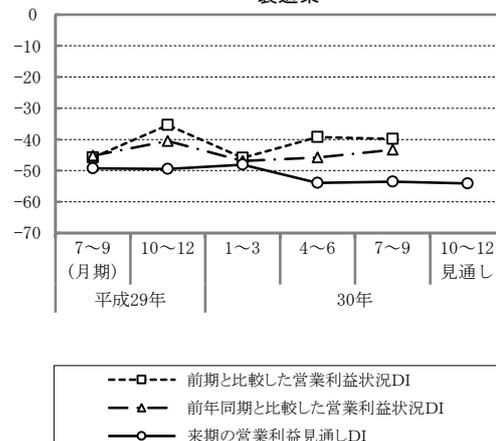
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)39.8で、前期(-39.2)に比べ、0.6ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)43.3で、前期(-45.8)に比べ、2.5ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)54.1で、前期における今期の営業利益見通し(-53.5)に比べ、0.6ポイントの悪化の見通しとなっている。

図11 営業利益状況DIの推移
—製造業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)1.0 で、前期 (+4.6) に比べ、3.6 ポイント「過剰」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)31.7 で、前期 (-26.0) に比べ、5.7 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)35.3 で、前期 (-31.6) に比べ、3.7 ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)6.8 で、前期 (-5.8) に比べ、1.0 ポイント「不足」が拡大した。

図12 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -製造業-

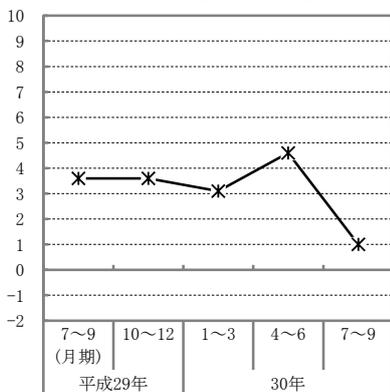


図13 資金繰り状況DIの推移 -製造業-

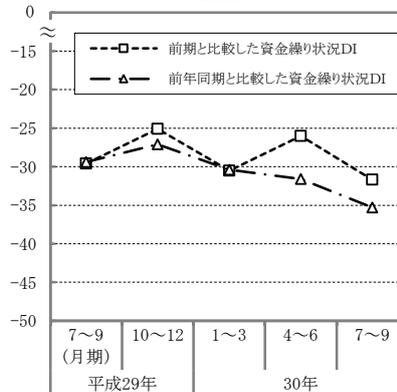
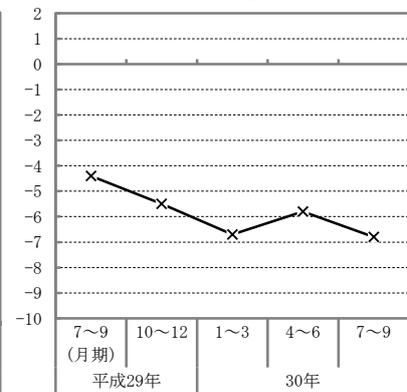


図14 雇用状況DIの推移 -製造業-



3 卸売業, 小売業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成30年7～9月期）の業況判断DIは (-)64.3 で、前期（平成30年4～6月期）(-58.0) に比べ、6.3 ポイント悪化した。

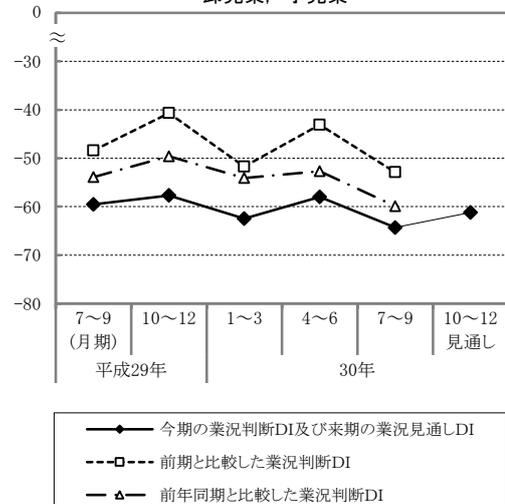
イ 前期と比較した業況判断DIは (-)52.9 で、前期 (-43.1) に比べ、9.8 ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成29年7～9月期）と比較した業況判断DIは (-)59.9 で、前期 (-52.7) に比べ、7.2 ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成30年10～12月期）の業況見通しDIは (-)61.2 で、今期の業況判断(-64.3) に比べ、3.1 ポイントの改善の見通しとなっている。

図15 業況判断DIの推移 -卸売業, 小売業-



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

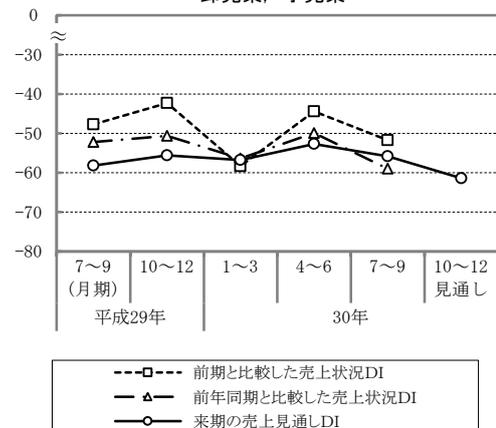
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)51.7で、前期(-44.4)に比べ、7.3ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)59.0で、前期(-49.9)に比べ、9.1ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)61.4で、前期における今期の売上見通し(-55.8)に比べ、5.6ポイントの悪化の見通しとなっている。

図16 売上状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

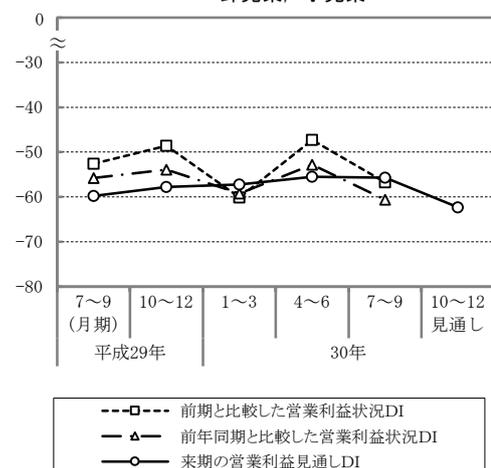
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)56.7で、前期(-47.3)に比べ、9.4ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)60.6で、前期(-52.8)に比べ、7.8ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)62.3で、前期における今期の営業利益見通し(-55.7)に比べ、6.6ポイントの悪化の見通しとなっている。

図17 営業利益状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+)6.6で、前期(+5.4)に比べ、1.2ポイント「過剰」が拡大した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)37.0で、前期(-32.4)に比べ、4.6ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)40.6で、前期(-34.7)に比べ、5.9ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)7.5で、前期(-7.8)に比べ、0.3ポイント「不足」が縮小した。

図18 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -卸売業, 小売業-

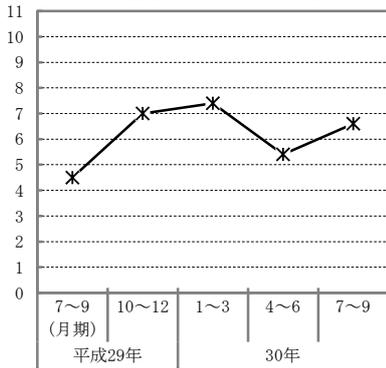


図19 資金繰り状況DIの推移 -卸売業, 小売業-

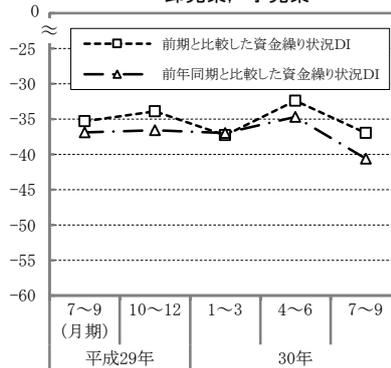
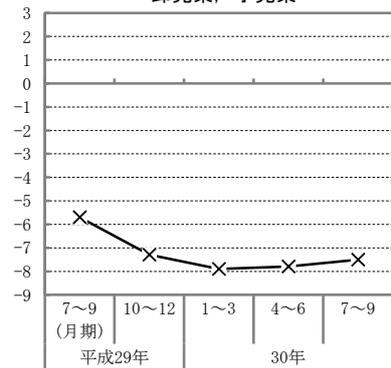


図20 雇用状況DIの推移 -卸売業, 小売業-



4 宿泊業, 飲食サービス業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成30年7～9月期）の業況判断DIは(-)58.2で、前期（平成30年4～6月期）(-52.9)に比べ、5.3ポイント悪化した。

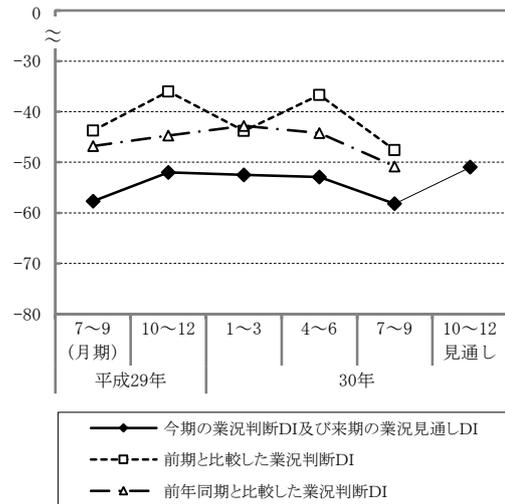
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)47.6で、前期(-36.7)に比べ、10.9ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成29年7～9月期）と比較した業況判断DIは(-)50.8で、前期(-44.2)に比べ、6.6ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成30年10～12月期）の業況見通しDIは(-)51.0で、今期の業況判断(-58.2)に比べ、7.2ポイントの改善の見通しとなっている。

図21 業況判断DIの推移 -宿泊業, 飲食サービス業-



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

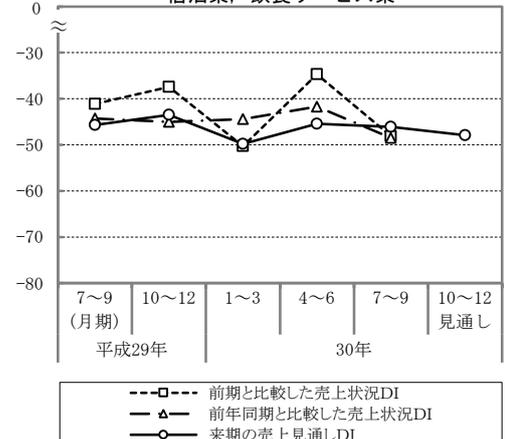
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)48.1で、前期(-34.7)に比べ、13.4ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)48.5で、前期(-41.7)に比べ、6.8ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)47.9で、前期における今期の売上見通し(-46.1)に比べ、1.8ポイントの悪化の見通しとなっている。

図22 売上状況DIの推移 -宿泊業, 飲食サービス業-



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

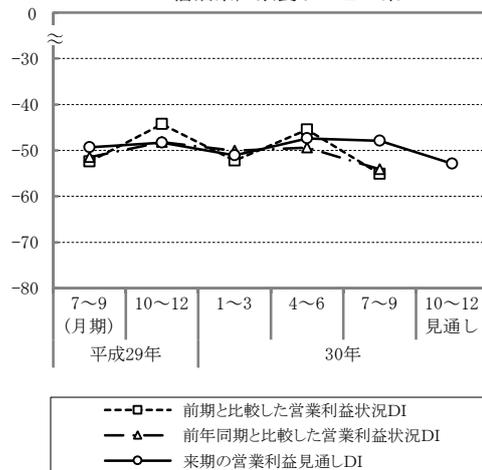
ア 前期と比較した営業利益状況DIは (-)55.1 で、前期 (-45.5) に比べ、9.6 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは (-)54.1 で、前期 (-49.4) に比べ、4.7 ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは (-)52.9 で、前期における今期の営業利益見通し (-47.9) に比べ、5.0 ポイントの悪化の見通しとなっている。

図23 営業利益状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)2.8 で、前期 (+2.0) に比べ、0.8 ポイント「過剰」が拡大した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)34.2 で、前期 (-32.9) に比べ、1.3 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)35.8 で、前期 (-33.7) に比べ、2.1 ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)8.3 で、前期 (-9.4) に比べ、1.1ポイント「不足」が縮小した。

図24 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—

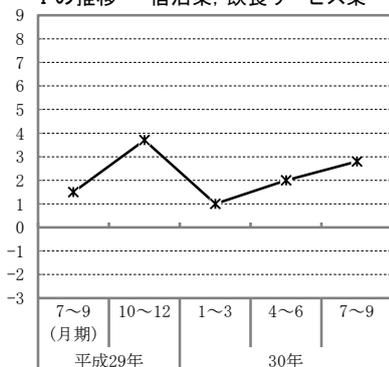


図25 資金繰り状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—

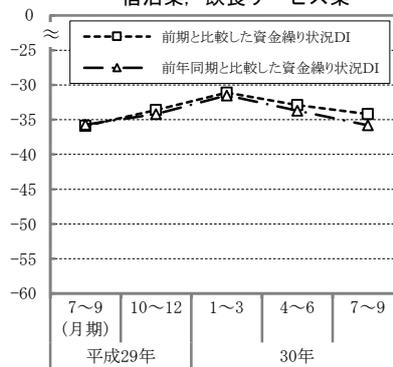
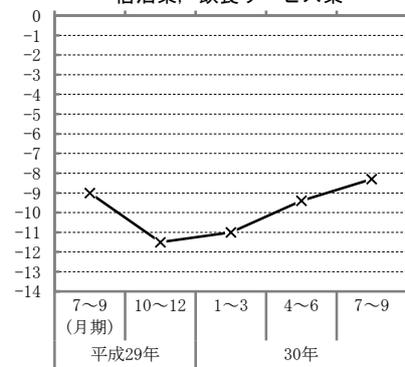


図26 雇用状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—



5 サービス業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成30年7～9月期）の業況判断DIは(-)59.1で、前期（平成30年4～6月期）(-54.1)に比べ、5.0ポイント悪化した。

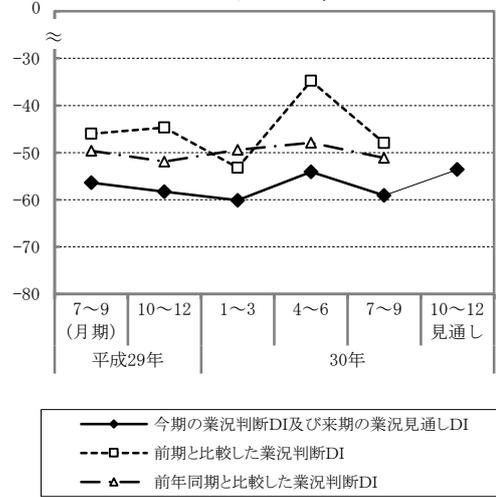
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)48.0で、前期(-34.8)に比べ、13.2ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成29年7～9月期）と比較した業況判断DIは(-)51.1で、前期(-47.9)に比べ、3.2ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成30年10～12月期）の業況見通しDIは(-)53.6で、今期の業況判断(-59.1)に比べ、5.5ポイントの改善の見通しとなっている。

図27 業況判断DIの推移
—サービス業—



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

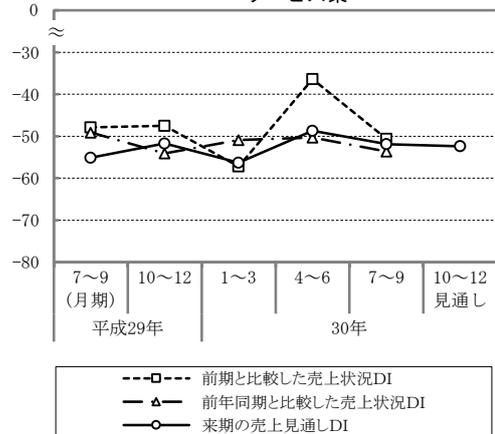
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)50.6で、前期(-36.4)に比べ、14.2ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)53.6で、前期(-50.3)に比べ、3.3ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)52.4で、前期における今期の売上見通し(-51.9)に比べ、0.5ポイントの悪化の見通しとなっている。

図28 売上状況DIの推移
—サービス業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

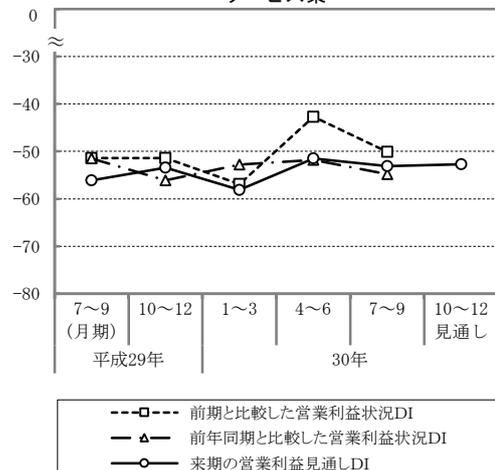
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)50.1で、前期(-42.7)に比べ、7.4ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)54.8で、前期(-51.8)に比べ、3.0ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)52.7で、前期における今期の営業利益見通し(-53.1)に比べ、0.4ポイントの改善の見通しとなっている。

図29 営業利益状況DIの推移
—サービス業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)2.2 で、前期 (+1.4) に比べ、0.8ポイント「過剰」が拡大した。

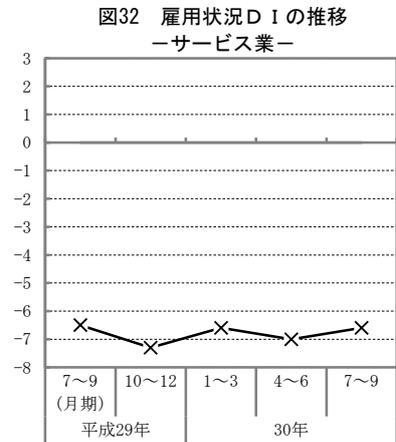
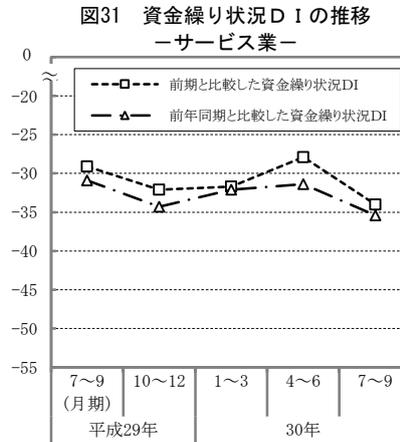
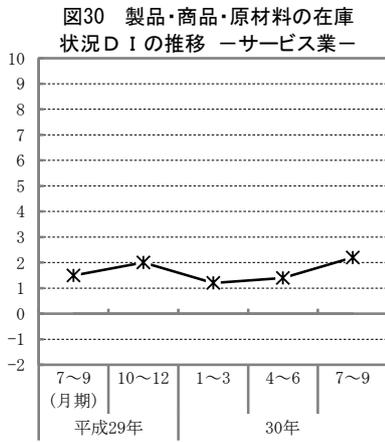
(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)34.0 で、前期 (-27.9) に比べ、6.1ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)35.4 で、前期 (-31.4) に比べ、4.0ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)6.6 で、前期 (-7.0) に比べ、0.4ポイント「不足」が縮小した。



Ⅲ 営業収支

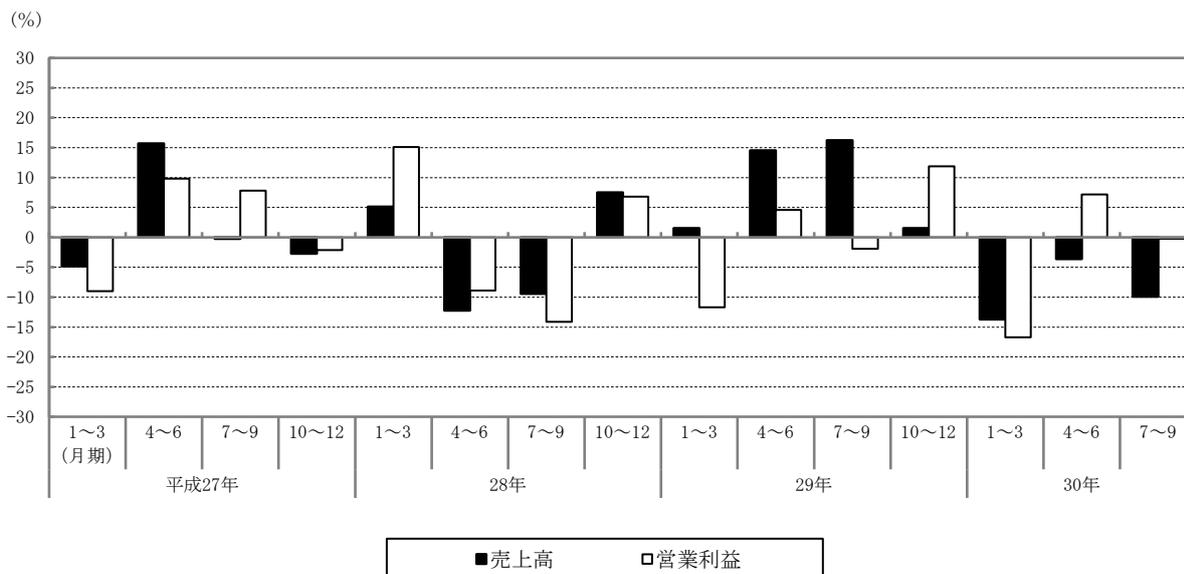
1 製造業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は219万1000円で、これに対する費用は売上原価が76万4000円、営業費が86万円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は56万8000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)9.9%で、3期連続で減少した。また、営業利益は(-)0.2%で、2期ぶりに減少した。

図33 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 —製造業—

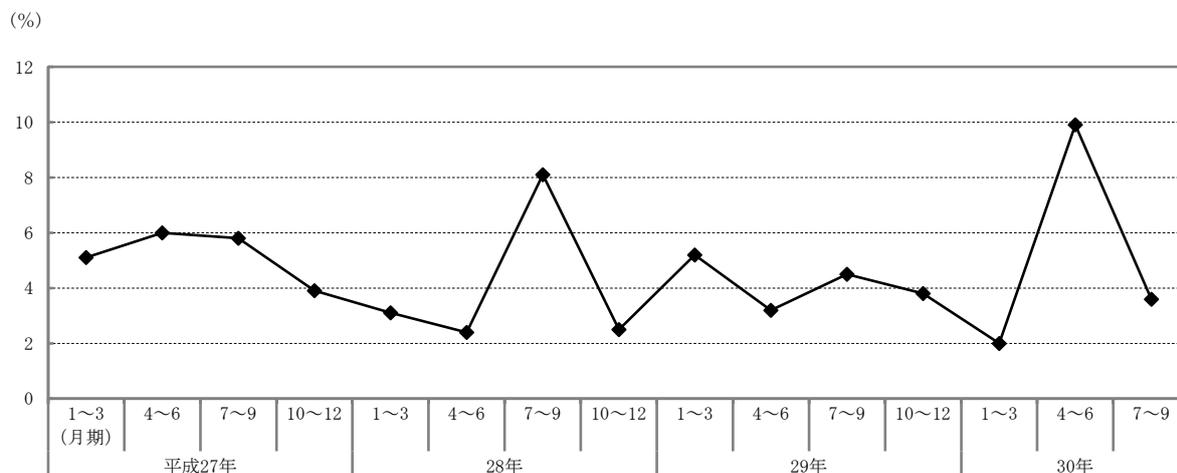


(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は7万9000円で、前年同期(11万円)を下回った。

また、設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は3.6%で、前年同期(4.5%)を0.9ポイント下回った。

図34 設備投資率の推移 —製造業—



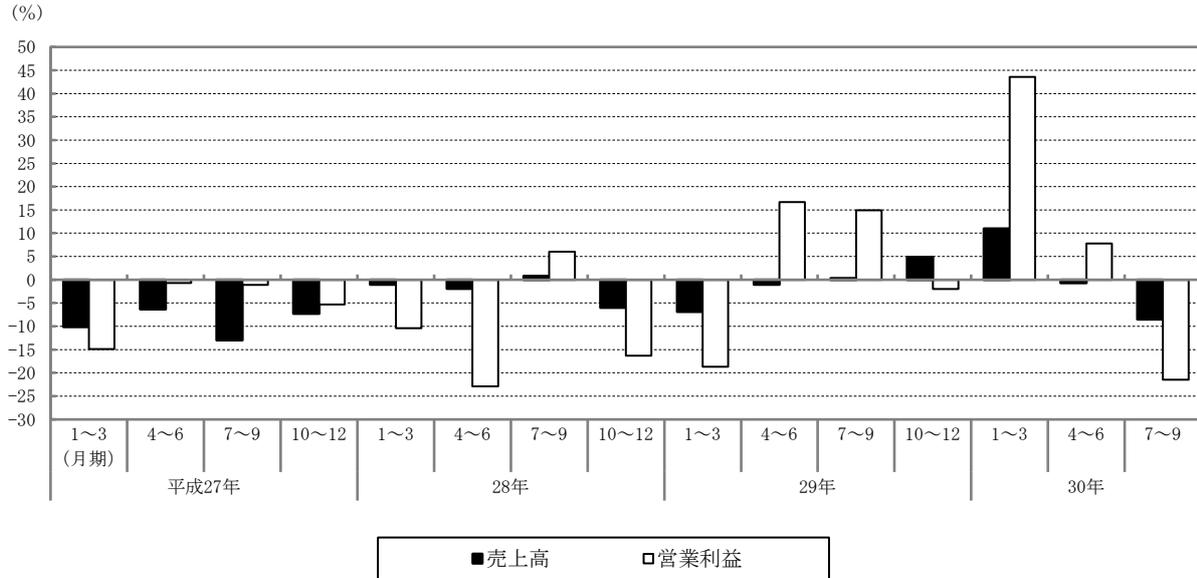
2 卸売業、小売業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は333万9000円で、これに対する費用は売上原価が224万5000円、営業費が74万5000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は35万円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)8.5%で、2期連続で減少した。また、営業利益は(-)21.5%で、3期ぶりに減少した。

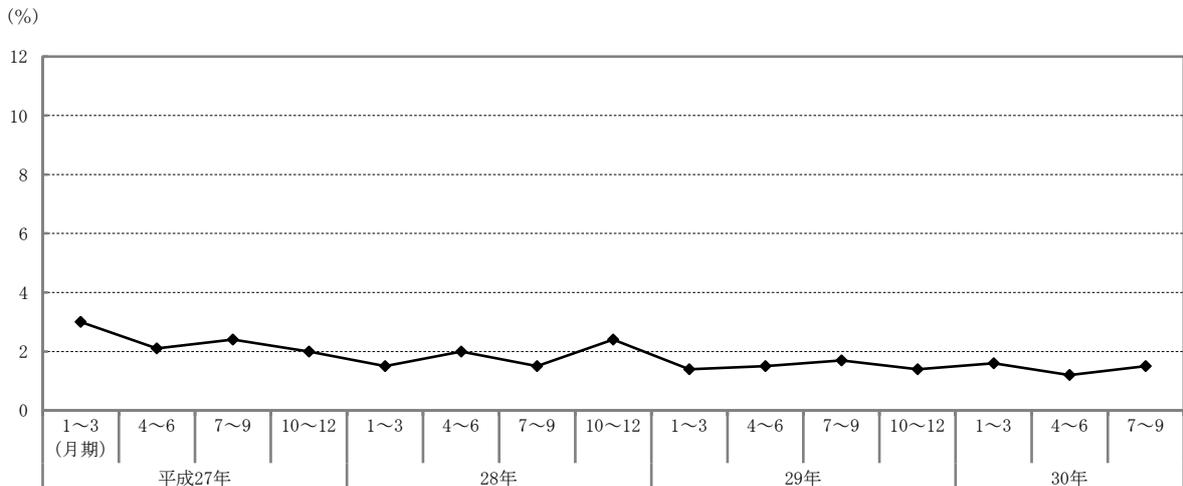
図35 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 一卸売業、小売業一



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は4万9000円で、前年同期(6万3000円)を下回った。また、設備投資率は1.5%で、前年同期(1.7%)を0.2ポイント下回った。

図36 設備投資率の推移 一卸売業、小売業一



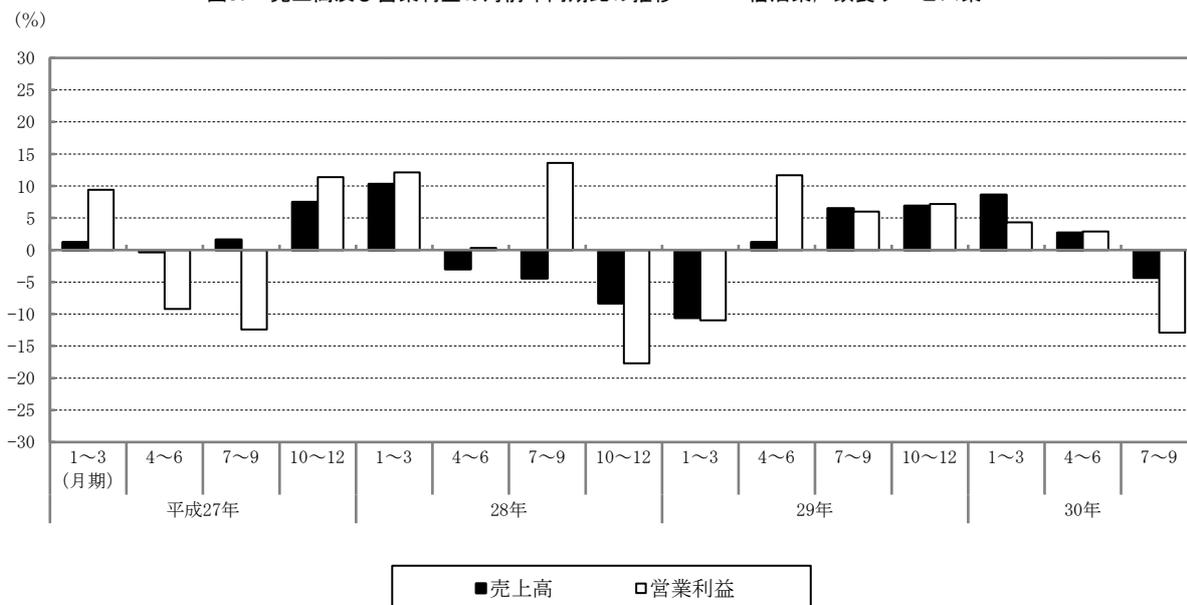
3 宿泊業，飲食サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は214万9000円で、これに対する費用は売上原価が91万8000円、営業費が84万5000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は38万6000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)4.3%で、6期ぶりに減少した。また、営業利益は(-)12.9%で、6期ぶりに減少した。

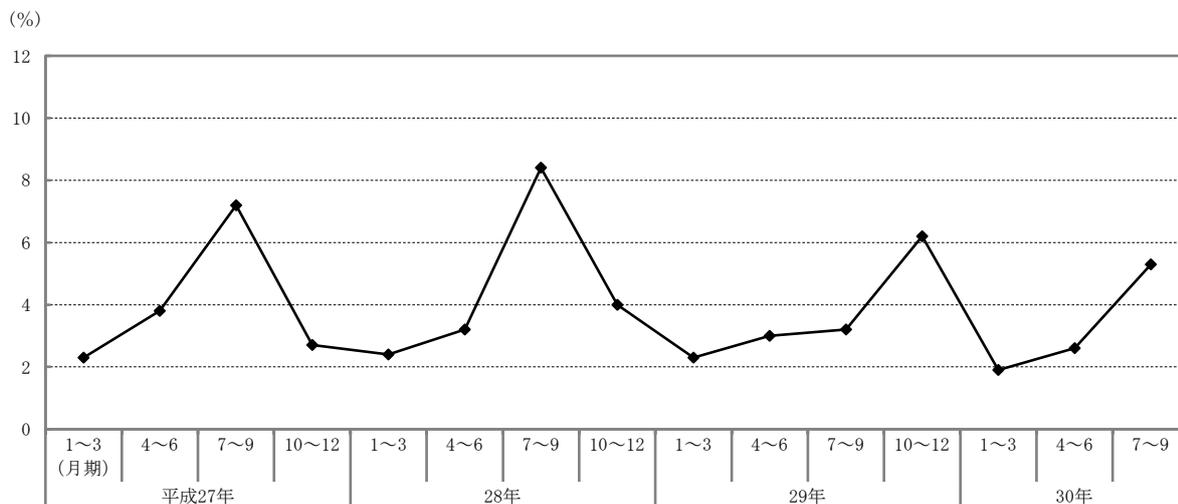
図37 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は11万4000円で、前年同期(7万2000円)を上回った。また、設備投資率は5.3%で、前年同期(3.2%)を2.1ポイント上回った。

図38 設備投資率の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



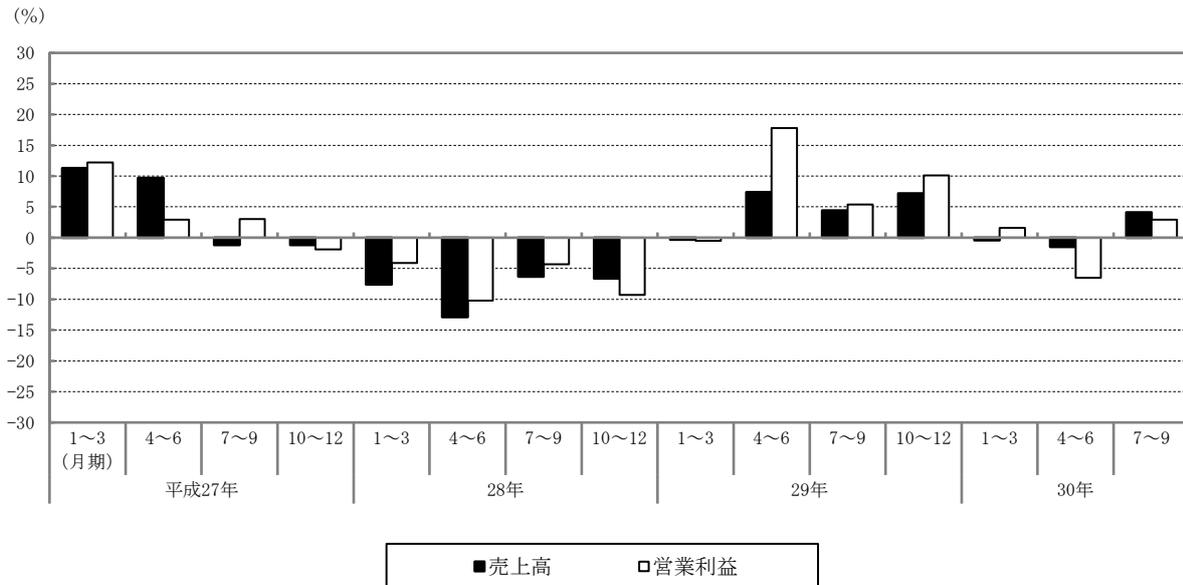
4 サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は123万8000円で、これに対する費用は売上原価が18万3000円、営業費が59万2000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は46万3000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+) 4.1% で、3期ぶりに増加した。また、営業利益は(+) 2.9% で、2期ぶりに増加した。

図39 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 —サービス業—



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は6万8000円で、前年同期(3万3000円)を上回った。また、設備投資率は 5.5% で、前年同期(2.8%)を2.7ポイント上回った。

図40 設備投資率の推移 —サービス業—

